

向町区まちづくり計画書

平成22年8月策定

京丹後市久美浜町向町区

目 次

1. 向町区まちづくり計画策定経過	1
2. 「向町区まちづくり計画」(案) について	2
3. 向町区まちづくり計画(案) に対する意向調査について	4
4. 向町区まちづくり計画アンケート結果	5
5. 平成22年度 向町区まちづくり委員会役員体制	8
6. 向町区まちづくり長期計画(10年)	9
7. 「向町区まちづくり計画」実績について	13

向町区まちづくり計画策定経過

年 月 日	実 施 内 容	備 考
22. 2. 20	向町区まちづくり計画(案)の検討	役員会
22. 3. 19	第1回向町区まちづくり委員会 ①委員委嘱と委員長等役員選任 ②計画案の審議及び承認 ③今後の進め方について協議	委員全員
22. 3. 26	向町区総会 ①向町区まちづくり計画(案)の説明会 ②要望及び意見について、常会(隣組会議)で 集約する	区民40名
22. 5. 29	第2回向町区まちづくり委員会 ①区民の要望事項とりまとめ(別紙) ②計画案の修正	委員全員
22. 8. 28	第3回向町区まちづくり委員会 ①修正案を総会に付議する件	委員全員
22. 9. 12	向町区総会	区民全員

平成 22 年 1 月 14 日

「向町区まちづくり計画」について（案）

1. 計画作成の団体名称

向町区地域振興協議会

2. 対象地域

向町区

3. 地域における分野別課題

(1) 福祉

高齢化の進行により、人口の 50%が 65 歳以上の高齢者が占める「限界集落」に近づきつつあり、集落の自治、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている。

(2) 環境

近年、異常気象や農地の宅地化等により風水害に脆い地域となっており、防災整備が強く望まれる。

4. 地域における望ましい将来像（目標）

- (1) 地域で支えあうまちづくり
- (2) ふれあいと交流のまちづくり
- (3) 安心・安全のまちづくり

5. 目標を達成するための具体的行動

(1) 地域で支えあうまちづくり

- ①京丹後市福祉協議会との連携により、高齢者や障害者を支える仕組みづくりをおこなう
- ②福祉委員の積極的な活動
- ③災害時要援護者避難支援プランへの積極的な参画

(2) ふれあいと交流のまちづくり

- ①向町公民館を拠点として、地域交流を一層図っていく
そのため、高齢者にやさしいトイレに変更（和式→洋式）、若者の交流の場である太鼓台練習室の改修等を図る。

②地域の各種団体に向町区の行事に積極的に参加してもらう

向町区には、熟年会、ゆうゆう会、婦人会、ママクラブ、子供会、太鼓台団体等、各種団体があり、向町区の行事に団体単位で役割を分担してもらい、行事のより一層の活性化を図る。

(3) 安心・安全のまちづくり

①明ヶ谷「ため池」「水路」に関する農村災害整備事業については、行政と連携を密にして、滞りなく完遂させる。

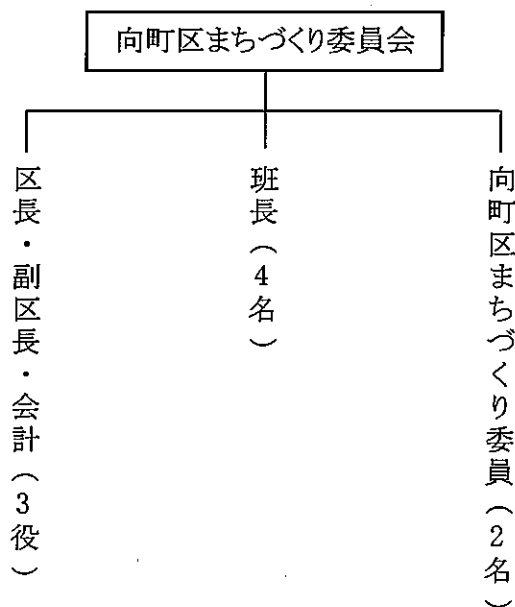
②風水害、火災、地震等の災害に対する防災活動に積極的に取り組む。

③(2)で前述した通り、災害時要援護者避難支援プランに対し、積極的に参画する。

6. 推進体制

向町区まちづくり委員会は、専属委員である向町区まちづくり委員2名の他、向町区長、副区長、会計、班長4名 計9名で構成する。

委員会は、原則として2ヵ月に1回開催する。



7. 計画期間

平成22年度から3年間とする

以上

平成 22 年 3 月 27 日
向町区長 中井 均

区民の皆様へ

向町区まちづくり計画（案）に対する意向調査について

先日総会でご説明申し上げた、(別紙)「向町区まちづくり計画（案）」に
対しまして、ご検討いただき、別紙アンケート用紙の項目について忌憚ないご
意見・ご要望を常会までお寄せいただきますようお願い申し上げます。

以 上

区民の皆様へ

アンケート用紙

(1) 向町区の課題について

(2) 将来の不安について

(3) 向町区まちづくり計画について

《要望事項》

①地域で支えあうまちづくり

②ふれあいと交流のまちづくり

③安心・安全のまちづくり

④その他

以上

アンケート結果（主なもの）

（１）向町区の課題について

- ・独居老人世帯が増加しているため、火災防止を含め区で支える仕組みづくりが必要。
- ・後継者不足で農地埋立が進行し、大雨に弱い地域になっている。
- ・独居老人世帯の増加に伴い、収入減から区費減免の要求が強くなっている。そのため、区財政は厳しくなっている。

（２）将来の不安について

- ・子供も帰ってこないの、将来に楽しみがない。
- ・年金生活のため、将来が不安だ。
- ・健康に自信が持てなくなった。
- ・久美浜病院は、赤字であっても存続して欲しい。

（３）向町区まちづくり計画について

〈要望事項〉

①地域で支えあうまちづくり

- ・自然災害の時には、避難支援をして欲しい。
- ・独居老人世帯及び老人夫婦世帯の引きこもり問題に、区は積極的に関与すべきである。
- ・団塊世代（熟年会男子 16 名）の力をまちづくり計画に活用できないか？
- ・生活困窮世帯のため、公民館で葬式が出来るよう備品購入をしてはどうか？

②ふれあいと交流のまちづくり

- ・昨年あった向町ふれあいサロンを復活してほしい。
- ・全員が参加できる行事を増やして欲しい。
（例）三柱神社での花見
- ・男女とも世代間でどうしても壁ができており、世代間の交流がない。
（例）太鼓台・自警団 ⇄ ゆうゆう会 ⇄ 熟年会
- ・竹器づくり教室を開設して欲しい。
- ・高齢化により、太鼓台の存続が危ぶまれる。区は他地域からの応援者を引き続き勧誘して、存続に努力して欲しい。

- ・高齢者の憩いの広場が欲しい。
- ・独居老人世帯及び老人世帯への声かけ運動をしては？
- ・「お大師さん」（弘法大師の命日や誕生日をまつる会…70歳以上の女性で構成）をもっと活性化できないのか？
→後継者問題（文化の継承）

③安心・安全のまちづくり

- ・異常気象が続いているため、集中豪雨による自然災害が一番心配である。
- ・向町区内の道路は、道幅が狭い上に、久美浜病院の関係者の通勤で交通量も多く、車両のすれ違いに苦勞する。
- ・熊がよく出没するので、警察と連携して注意を呼びかけて欲しい。
- ・最近、空き巣による被害が多くなっている。防犯体制の強化を図って欲しい。

④その他

- ・若者がもどってくるよう、住宅地を確保するため空き地を有効活用できないか。

平成 22 年度 向町区まちづくり委員会役員体制

委員長	中井 均
副委員長	古嶋 利彦
会計	中田 朝太郎
委員（一班班長）	大谷 文夫
〃（二班班長）	中嶋 幸雄
〃（三班班長）	古嶋 修
〃（四班班長）	古嶋 武徳
〃	田中 博男
〃	古嶋 由利江

以 上

向町区まちづくり長期計画（10年計画）

（1）地域で支えあうまちづくり

方針	重点施策	スケジュール
<p>（1）住みやすい環境づくり</p>	<p>①下水道工事整備</p> <p>②京丹後市ブロードバンドネットワーク事業の整備</p>	<p>平成22年度 業者入札・選定</p> <p>平成23年度 着工へ供用開始</p> <p>平成22年3月26日 総会にて 区民全員がケーブルテレビに加入し、テレビ組 合は解散することを全員一致で可決。</p>
<p>（2）区内施設の維持管理</p>	<p>①三柱神社の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・境内の立木伐採 ・熟年会メンバーを主に管理 	<p>三柱神社役員と熟年会との間で、今後の運営方針 について協議し、定例化していききたい。</p>
<p>（3）高齢者を支える仕組みづくり</p>	<p>①京丹後市福祉協議会と連携した活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向町ふれあいサロンの復活 ・見守り・声かけ訪問活動 <p>②災害時要支援者避難支援 区が避難支援者として情報伝達や安否確認等 の支援を行っていく</p> <p>③京丹後市健康づくり推進事業と連携した健康 増進活動を展開する</p>	<p>平成23年度から復活し、その後定着させる活動 を展開させる。</p> <p>協力ボランティアの育成 民生児童委員との協力体制</p> <p>平成22年8月の防災訓練からスタートし、今後 10年間で改善を繰り返し、定着化させる。</p> <p>健康づくり推進委員会を中心とした運動を計画する</p>

(2) ふれあいと交流のまちづくり

方 針	重 点 施 策	ス ケ ジ ュ ー ル
<p>(1) 区内各種団体の全面的協力を得て、区民全員が参加できる行事を増やす</p>	<p>①従来の行事をさらに活性化させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「山の神様」参加 子供の参加を募る ・ 「一区敬老会」 出席率（平成22年 37%）の向上のため不参加者に呼びかけを行う ・ 「納涼祭盆踊り大会」 盆踊り練習日の設定 ・ 「神谷太刀ノ宮氏神祭」 応援者の募集を推進 <p>②新しい行事の創設 三柱神社境内の花見は、現在4班や熟年会のみで開催しているが、全区民の「花見祭」を開催する。</p> <p>③高齢者（団塊世代を含む）の憩いの広場をつくる</p>	<p>平成23年度より改善を継続していく</p> <p>平成23年度から開催したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明ヶ谷に公園を建設する ・ 地権者の理解と協力を得る（10年計画）

(3) 安心・安全のまちづくり

方針	重点施策	スケジュール
<p>(1) 集中豪雨や地震等の自然災害に対して、地域の安心・安全を確保する</p>	<p>①災害発生の危険性が極めて高い明ヶ谷ため池改修工事及び排水路の整備をおこなう</p> <p>②向町区内国道178号線南側の農地埋立てに伴い、排水処理能力が不足すると思われる。そこで、排水路の改修整備を図る。</p> <p>①道路改良工事 向町土居後線（中島 毅氏宅前より上嶋 政美氏宅前まで） 久美浜病院への進入路、特にこの区間の道路が狭く、すれ違いに苦勞し交通事故も多い。そこで、道路両側にある排水溝を蓋付き側溝として整備するもの</p> <p>②カーブミラーの設置 向町区内児童公園前</p>	<p>農村災害対策整備事業として実施決定 総工費 50,000千円 地元負担額 3,241千円 平成21年度 事業申請 平成22年度 測量・設計 平成23年度 工事着手・完了</p> <p>平成23年度新規要望事項として提出した明ヶ谷回収事業が進行中にて、今後5カ年（平成28年まで）以内に事業化にこぎつけたい。</p> <p>長い間要望事項として要求していたが、平成22年度に事業化が決定。 工期 平成22年8月～12月</p> <p>平成23年度までに設置する方向（京丹後市承認済）</p>
<p>(2) 交通事故から区民を守る</p>	<p>①道路改良工事 向町土居後線（中島 毅氏宅前より上嶋 政美氏宅前まで） 久美浜病院への進入路、特にこの区間の道路が狭く、すれ違いに苦勞し交通事故も多い。そこで、道路両側にある排水溝を蓋付き側溝として整備するもの</p> <p>②カーブミラーの設置 向町区内児童公園前</p>	<p>平成23年度新規要望事項として提出した明ヶ谷回収事業が進行中にて、今後5カ年（平成28年まで）以内に事業化にこぎつけたい。</p> <p>長い間要望事項として要求していたが、平成22年度に事業化が決定。 工期 平成22年8月～12月</p> <p>平成23年度までに設置する方向（京丹後市承認済）</p>

(4) その他

方針	重点施策	スケジュール
<p>・限界集落から脱却を図る (若い世帯数を増やす運動を展開する)</p>	<p>・区内に空家及び空地(遊休農地)が増加しているが、地権者や京丹後市の協力を得て、宅地造成を行ない転居者を募集する。</p>	<p>・久美浜病院裏から国道178号線南側の一帯は良質な住宅地となり得る。困難な利害調整が必要となるが、運動を展開したい。</p> <p>・平成22年度には、この地域で2軒住宅建設の計画がある。</p>

「向町区まちづくり計画」実績について

1. 過去の取組み実績及び今後の計画

(1) 地域で支えあうまちづくり

①京丹後市福祉協議会との連携による活動

- ・向町ふれあいサロンの再開（平成 23 年度）
平成 20・21 年実施、平成 22 年度 1 年間中断

②災害時要援護者避難支援プランへの積極的な参画

- ・ 8 月 29 日（日）防災訓練実施予定
別紙訓練実施計画書の通り、避難行動要支援者の安否確認を中心とした訓練を行なう

(2) ふれあいと交流のまちづくり…活動記録及び写真参照

①主な行事

- | | | |
|------------------|---------------|-------------|
| ① 4 月 4 日（日） | 「山の神様」参り | 参加者 30 名 |
| ② 4 月 29 日（日） | 一区敬老会（75 才以上） | 参加者 17 名 |
| ③ 6 月 6 日（日） | 一区公民館球技大会 | 参加者 27 名 |
| ④ 8 月 14 日（土） | 納涼祭盆踊り大会 | 参加人員約 120 名 |
| ⑤ 10 月 10 日～11 日 | 神谷太刀ノ宮氏神祭 | 参加者 48 名 |

②区内の各種団体の活性化

上記行事を運営していくには、下記団体の協力なくしては成立しない

- (イ) 熟年会（60 才以上の男性で構成）
- (ロ) ゆうゆう会（40～50 才代の男性で構成）
- (ハ) 婦人会（60 才以上の女性で構成）
- (ニ) ママクラブ（40～50 才代の女性で構成）
- (ホ) 子供会（小学生の保護者で構成）
- (ヘ) 太鼓台団体及び自警団（20～30 才代の男性で構成）

交友関係から、年代別に構成されており、区としては、区内団体活動費（22 年度は 150,000 円）を支出しているが、よりいっそうの活性化を促すため 23 年度は増額を予定している。

また公民館は、上記団体の行事運営及び懇親会の場所として利用されている。

(3) 添付資料について

- ①平成 21 年度及び平成 22 年度向町区長事業等実施報告書
- ②各種活動記録及び写真（日付順）

以 上